



2025年(令和7年)2月26日午後2時

府政記者会 会員各位  
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位  
枚方記者クラブ 会員各位

小学生向け生物調査イベントを開催します。  
**親子でチャレンジ！**  
**ケモノしらべ隊 in 万博記念公園**

万博記念公園の森には、様々なケモノ(中大型野生哺乳類)が暮らしていますが、日中は姿を隠していて、見つけることが困難です。そこで本イベントでは、生きものの専門家と一緒に、自動撮影カメラを使ったケモノの調査を行います。普段は見るできないケモノたちの姿をとらえてみましょう！

本イベントはおおさか環農水研生物多様性センターで現在開催中の企画展「カメラが捉えた！大阪のケモノの現在地」<sup>\*1</sup>の関連イベントとして、「おおさか生物多様性リンク」<sup>\*2</sup>で連携している万博記念公園マネジメント・パートナーズ自然観察学習館 moricara との共催で実施します。みなさまのお越しをお待ちしております。

「親子でチャレンジ！ケモノしらべ隊 in 万博記念公園」

1. 日時

第1回：2025年3月29日(土曜日)午後1時30分から4時00分(1時受付開始)

第2回：2025年5月6日(火曜日・休日)午後1時30分から4時00分(1時受付開始)

※2回連続プログラムのため、両日ともご参加いただける方が対象です。

※雨天決行・荒天中止。雨天時は内容が変更になる場合があります。中止の場合は当日10時までに判断し、お預かりしている電話番号に中止の旨をご連絡します。

2. 場所

万博記念公園(大阪府吹田市千里万博公園)

自然観察学習館 moricara 及びその周辺

3. 内容

第1回：

- ・ケモノを調べる秘密兵器！自動撮影カメラを使った調査について学ぼう
- ・万博の森に自動撮影カメラを仕掛けてみよう！
- ・日本のケモノ、どんなケモノ？見て、聞いて、触ってみよう！

第2回：

- ・仕掛けた自動撮影カメラの映像を確認しよう！
- ・調査結果をまとめて、万博の森ケモノマップを作ろう！
- ・博士おしえて！大阪に暮らすケモノ調査研究の最前線

#### 4. 対象・定員

小学生 20 名とその保護者（高校生以上）

※必ず保護者の方と一緒にご参加ください。

#### 5. 参加費

無料

#### 6. 申込方法

WEB の参加申込フォーム、お電話またはご来館で事前にお申込みください。

- ・ 定員を超える申込みがあった場合は抽選となります。当選された方のみ 3 月 18 日（火曜日）にメールまたはお電話にてご連絡します。
- ・ 1 グループにつき 6 名までお申込みいただけます。
- ・ 定員に保護者は含みませんが、1 グループにつき 1 名以上同行してください。
- ・ 乳幼児など対象学年未満のお子様が行き同される場合についても、申込み時にお名前等をお知らせください。（ただし、一部プログラムは体験いただけない場合があります）

##### ■参加申込みフォームの場合

Google フォームからお申込みください。



[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc0qVHzI0ZpPy2kW0fmw5XJbW7QyBcF9exVR82\\_AyTmk8l3ow/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc0qVHzI0ZpPy2kW0fmw5XJbW7QyBcF9exVR82_AyTmk8l3ow/viewform)

##### ■お電話またはご来館の場合

開館時間中にお電話（06-6877-6923）またはご来館（万博記念公園 自然観察学習館 moricara）にてお申込みください。

開館時間：午前 10 時から午後 4 時まで※毎週水曜日は休館日（祝日の場合は直後の平日）

なお、お申込みの際には以下の必要事項をお伺いします。

<必要事項>

- ・ 代表者の氏名
- ・ 代表者の電話番号
- ・ 参加者（代表者となる保護者を含む）の人数および保護者・参加者の区分

#### 7. 申込期間

2025 年 3 月 8 日（土曜日）午前 10 時から 3 月 16 日（日曜日）午後 12 時

#### 8. 共催

大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター

万博記念公園マネジメント・パートナーズ 自然観察学習館 moricara

## 9. 注意事項

- ・ 障がいがある方等で、参加にあたり配慮を希望する方は、事前にご相談ください。
- ・ 野外での活動では、森や未舗装路に立ち入ることがあります。

### \*1 企画展「カメラが捉えた！大阪のケモノの現在地」

当センターでは、野生動物の適切な保護管理に役立てるため、各種フィールドワークやアンケートなどで「ケモノ」の情報を収集し、調査を進めてきました。近年は、様々な団体と連携して府内各地に170台以上のセンサーカメラを設置し、生息状況の調査を拡充しています。

本企画展では、府内各地で実際に撮影されたケモノの映像を多数上映し、はく製の展示を行うとともに、その生息状況等の調査結果や、ケモノをめぐる現在の様々な課題についてご紹介しています。

企画展「カメラが捉えた！大阪のケモノの現在地」について詳しくはこちら

(環農水研 HP) <https://www.knsk-osaka.jp/kankyo/info/doc/2025012100010/>



### \*2 「おおさか生物多様性リンク」

当センターと学校、企業、行政機関等の団体が相互に協力し合うことで、生物多様性の保全や利活用を一層推進することをめざす取組です。

「おおさか生物多様性リンク」について詳しくはこちら

(環農水研 HP) <https://www.knsk-osaka.jp/biodiv/bdlink/index.html>

